

# SETOGIWA TIMES

発行所：行政書士塩見事務所 E-mail: [info@setogiwa.com](mailto:info@setogiwa.com) Web: [www.setogiwa.com](http://www.setogiwa.com)  
大阪市中央区谷町 2-5-4 702 号 Tel: 06-6946-9505

読者の皆様、明けましておめでとうございます。初夢はご覧になりましたか？

## ① 夫婦げんかは犬も喰わぬ

ある日、うたた寝をしていた亭主がウンウンとうなるので、見かねた女房が起こして「どんな夢を見たの？」と尋ねると、亭主は「夢なんか見ていない」と答えます。女房は正直に答えない亭主に腹を立て、夫婦げんかとなります。

聞きつけて止めに入った長屋の隣人が、夫婦げんかを収めたあとでやはり夢の話をお聴きしたので、今度は亭主と隣人がけんかになります。

隣人とのけんかを止めに入った大家とも同じ流れでけんかになり、ついにはお上のお裁き、お白洲へ出ることになります。「忙しい時に馬鹿なことでけんかをするのではない!」、裁いた奉行は人払いをしてまで夢のお話を聴こうとする。

「言わぬか!」と怒った奉行、亭主を木立に吊り下げた。そこへ、一陣の風と共に現れ亭主を救った天狗、「夢の話、聴かせぬなら八つ裂きにしてくれる!」と恐ろしい顔をする。「八つ裂きにされてはたまらない、ウン!」とうなっているところを女房が起こされ目が覚めた。落語「天狗裁き」の落ちです。

「そんな些細な事でけんか?」、「夫婦げんかほど馬鹿馬鹿しいものはない」、他人は好きなように言いますが当の本人たちには譲れない一線があります。

「けんかもしなくなったら夫婦はおしまいだ」・・・



縁あって一緒になった相手ですが、元々は他人ですから考え方に違いがあっても当たり前。相手の一言がどうしても許せないことだってあるでしょう。ここを先途と言いたいことを言い合ううち、今まで知らなかったお互いの気持ちがよく分かり「雨降って地固まる」(?)となれば世話はないのですが。

## ① <sup>みぎき</sup>♪ワ・タ・シは右利きすれちがい♪

「自分を愛せない人は他人を愛せない」と言われますが、「自分しか愛せない人は他人を愛せない」とも言えます。

他人とつきあう時一定の距離感を保つ人、相手に好感を持っているのに素直にその気持ちを表せない人がいます。自分のことを大切に思うあまり？相手に受け入れられずに傷つくことを恐れているから？自己防衛のための安全弁？

気のない素振りを受けた相手は「この人は私と親しくなる気はないのだ。」と思い、しだいに関心が薄れて行きます。高まっていた関心も、はぐらかされてばかりでは何事もなかったように冷めてしまうものでしょう。

安全弁を吹っ飛ばすような運命の相手にお目にかかるのは、一生に一度かも知れませんが、「何度もお目にかかった」という運のいい人、いますか？

こっちが「この人だ！」と思っても、相手の好みも事情もあることですから簡単ではありません。そんな難関を乗り越えて夫婦になったふたりが、20年、30年経つと氷が溶けるように平静になり、相手が何をしようかと何を考えようかと無頓着で、空気のような存在になるとは不思議なものです。



まれに見る仲よし夫婦から「何度も別れようと思った」と聞いたり、いつ別れてもおかしくないといやいやさせる夫婦が長持ちしたり。夫婦の実際は外見だけでは分かりません。別居夫婦、婚姻届にこだわらない夫婦も増えています。

お互いの人格を尊重しつつ、緊張感のある関係が理想かもしれません。

ほかにもできます：相続・遺言/交通事故/告訴・被害届/パスポート手続

E-mail: [info@setogiwa.com](mailto:info@setogiwa.com) Web: [www.setogiwa.com](http://www.setogiwa.com)

若かりし頃、大して知識も経験もないのに「男女間の友情は成り立つのか」、「精神から肉体への移行は当然なのか」と、一人前に議論を戦わせたものです。ほかに悩むこともない自由な時代、自分の考えを純粹につき詰めることに熱中していれば済みました。今思えば赤面の至りですが、当時は真剣だったのです。

読者の皆様、今年もよろしくお祈りします。